

第3回定例町議会

一般質問

漁家所得の安定化の
具体策を示せ

工藤 勇 議員

質問

町の経済はどれをとって
も重要ですが、基幹産業で



ある漁業所得の向上と安定
を図るのは喫緊の課題なの
で、町長の認識と具体策に
ついての見解を求めます。



ウニ・あわび
種苗の放流で
安定化はかる

新村 卓実 町長

答弁

漁家の平均所得からはサ
ラリーマンと比較しての生
活水準はほど遠い数値です
が、実態の把握は困難であ
り、あわび養殖、ウニ
の深浅移植、あわび種
苗の放流を実施し、漁
業所得の向上を図りた
い。

漁家に対する燃油支
援などの町独自の支援
ですが、離島に対する
ガソリンの1リットル
10円の価格支援が実施
されています。ガソリ
ン以外の燃油に対する
支援を政府に要望して
いくが、町独自の支援
策は今のところ考えて
いない。

役場庁舎の耐震と
津波対策を念頭に
置いた建設の見通しは

工藤 勇 議員

質問

災害時における本部機能
を果たす役場庁舎の維持確
保は必要不可欠のものです。
築50年を経過した庁舎に
おける耐震、津波対策に万
全を期さなければならぬ
が、庁舎建設を含めた町長
の認識を問います。



役場庁舎含め
公共施設等見直し
検討部会設置を指示

新村 卓実 町長

【答弁】

地震・津波だけでなく大雨、地滑り、川の氾濫、高潮などの災害有事に対する注意は十分にはらっていく考えです。役場庁舎の建設ですが、病院の老朽化、学校の耐震化など課題が山積していることから、公共施設を見直すために「公共施設など見直し検討部会」の設置を指示しています。検討する過程では住民の意見も反映させるための説明会の開催を視野に入るものです。



政府に原発頼みの
電力政策の
転換を求めよ

制野 征男 議員

【質問】

原発の建設に向けて「やらせメール」が泊原発でもおこなわれ、この間の原発推進はごまかしの世論操作によるものがあきらかとなり、町長としても「やらせメール」というごまかしに対し、北電に抗議する意思はありますか。

また、原発が全面的に停止されても心配ないとのデータもあり、町長として現状をしっかりとらえ、町民の暮らし、命、経済を守るという視点から、原発、自然・再生エネルギーに切り替えるという原発だけのみの電力政策の転換を政府に求めるべきではないのか。

町村会を通して
国に対し要望したい

新村 卓実 町長

【答弁】

今のところ北電に対し抗議する考えはないが、北電の上層部、幹部の方々と接する機会がありましたら、遺憾な旨を伝える考えです。

また、国の政策として福島島の事故後、原発や電気だけでなく総体的なエネルギー政策の改善がこれから求められていくと推察しており、北海道の町村会として

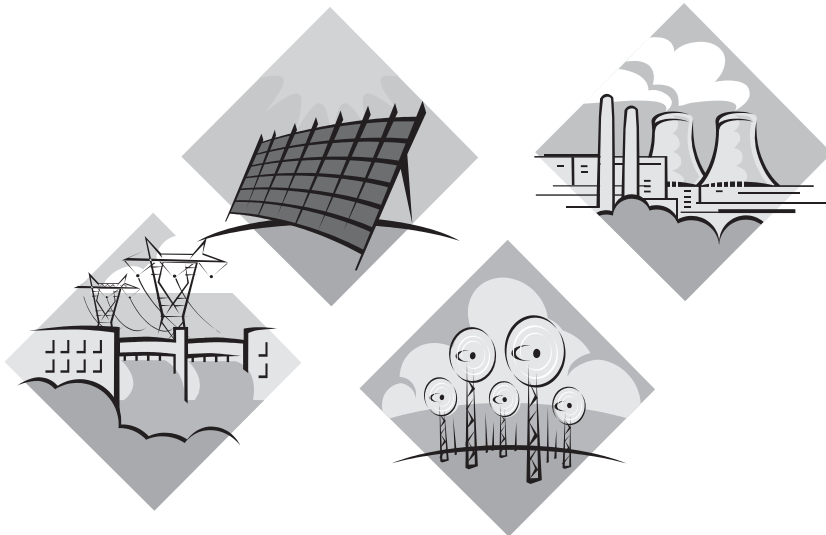
も、地域の特性を活かした再生可能エネルギーの積極的活用について、国に対し緊急要望を行なったところです。今後においても将来的なエネルギー政策のあり方を、町村会を通して要望していきたい。

パークゴルフ場の
利用促進を

制野 征男 議員

【質問】

オープンしてから2年になるリトールパークゴルフ場ですが、町民の健康増進、レクリエーションの場としての活用はもとより、観光振興にも役立つパークゴルフ場としての利用促進策を打ち出してもよい時期に来ていると思います。パークゴルフ場全体の改良点につ



いて、また、利用促進のために、とられてい
る町・指定管理者
としての
具体策を
お聞きし
ます。



指定管理者と協議し運営管理の充実をはかる

新村 卓実 町長

【答弁】

フルシーズンの営業は今年が初めてですが、学校教

育や町外の方にも利用してもらい、利用人口は徐々に増加すると思われる。今後、町としては観光協会などを通じて新聞や観光雑誌への掲載、指定管理者の方も町内外の団体や個人に声掛けをしてPRを続けます。今年芝の状態については利用者から特に苦情を受けていないが、施設における備品や、運営・管理面での注意は受けており、これらは指定管理者と協議し「運営管理の充実」を図っていく考えです。

育や町外の方にも利用してもらい、利用人口は徐々に増加すると思われる。今後、町としては観光協会などを通じて新聞や観光雑誌への掲載、指定

観光と商店街の活性化対策を

制野 征男 議員

【質問】

観光産業は景気の低迷、東北地方の大震災が加わり、厳しい環境下にあるが、手を拱いているわけにはいきません。

対策の一つとして、札幌近郊の観光客を誘致するため「せたな航路」を4月から10月まで延長することや乗用車の割引制度の継続が求められている。また、地元商店の営業も苦戦しており、活性化の強化も必要なので、商店街活性化対策に効果のあるプレミアム商品券の発行に対する補助も含め、町の対策と見解を問います。

財政状況を踏まえ検討する

新村 卓実 町長

【答弁】

フェリーダイヤの検討については観光協会でも独自に行なっており、期間延長の要望もあることから、町としても現在の厳しい状況



特定検診、歩く会、健康促進の講演会など町行事への参加が多いとは言えない環境にあります。打開策と

スタンプラリーで行事の参加促進を

制野 征男 議員

【質問】

を認識したうえで会社側と対応したい。また乗用車割引制度の効果は年々上がっている現状にあるが、今年が道の交付金補助の最終年度ということもあり、今後財政状況を踏まえて考えていきたい。プレミアム商品券の発行については、商工会による振興策として継続を望み要望があった場合は実績を精査して検討していく考えです。